

## 日本農業気象学会 2013 年全国大会（北陸大会）エクスカージョン

### 能登伝統野菜の里を訪ねて

加賀伝統野菜をご存知の方は多いと思います。その昔、文化の中心であった京都と北日本は、瀬戸内海を経由して日本海沿岸の航路でつながっていました。京都から発した食文化や風習は、数百 km ごとに設けられた寄港地に伝わりました。現在の石川県にあった寄港地を金沢港と誤解している方が多いようですが、718 年に能登国の発足に伴って国津と定められたのは、香島津、現在の七尾港だったのです。七尾港はその後、軍艦所から造船所に形を変え、現在は貿易港として発展しています。ここには、加賀伝統野菜とは違う能登伝統野菜が残っています。加賀野菜が観光客向けにアレンジされて原型が見えにくくなっています。能登伝統野菜には昔の面影が残っているかも、と期待してこの企画を立案しました。生産物が少ない時期で、漬物などからしか見ることはできないでしょう。しかし、そんな探検をしてみたい方、一緒に七尾で市場遊びをしてみませんか。（小沢 聖）

参考 <http://ja-notowakaba.jp/product/index.html>

集合場所：3月30日（土）AM8時 JR 七尾駅

経費：実費

申込・お問い合わせは、実行委員会（担当・小沢，E-mail: [kozawa@meiji.ac.jp](mailto:kozawa@meiji.ac.jp)）まで。申込の第1次締切は、2013年2月28日とします。